

平成26年度

第5委員協議会
報告資料

| | | |
|-------------------------------------|---|---|
| ○公道下の水道管漏水による事故について | 1 | 頁 |
| ○福岡市水道局乙金浄水場浄水処理方式検討委員会 第2回目開催報告 | 6 | 頁 |

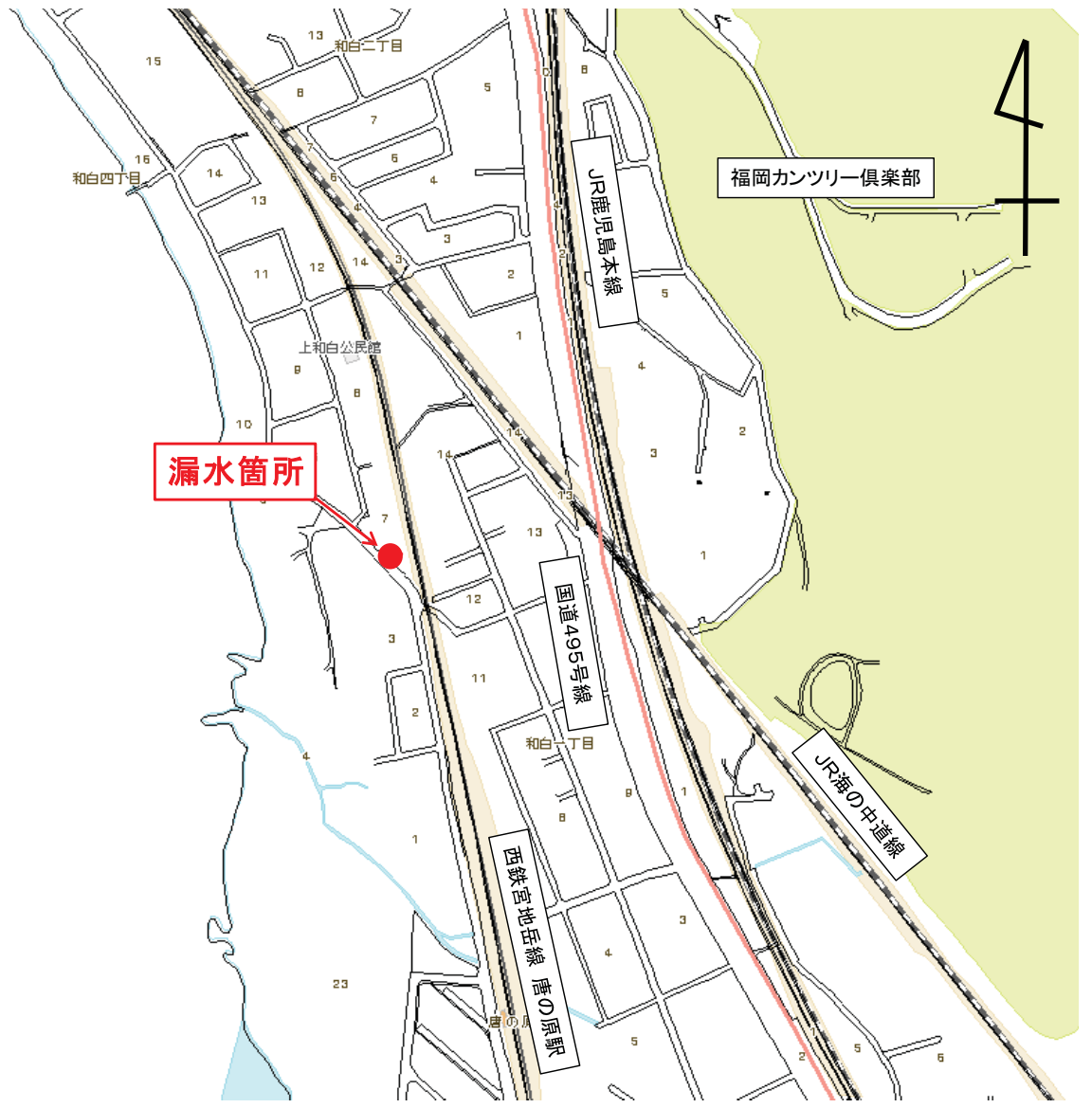
平成26年8月19日

水 道 局

公道下の水道管漏水による事故について

| | |
|-----------|---|
| (1) 発生日時 | 平成26年 7月 6日(日) 午後1時10分頃 |
| (2) 発生場所 | 福岡市東区和白四丁目7番4号前 |
| (3) 事故の状況 | <p>○上記の日時場所において、公道下に埋設された家庭用給水管の自然漏水が発生した。この漏水した水道水の水撃と土砂粒子による研磨作用でサンドブラスト現象が生じ、給水管の上に埋設されていたガス本管を削孔し、破損した。</p> <p>○給水管 口径20mm 鉛製 昭和48年埋設</p> <p>○断水戸数 0戸</p> |
| (4) 被害の内容 | <p>○相手方 福岡市博多区千代一丁目17番1号 西部瓦斯株式会社</p> <p>○被害 ガス本管の破損 口径200mm 鋳鉄製 平成3年埋設</p> <p>○ガス供給停止 29戸</p> |

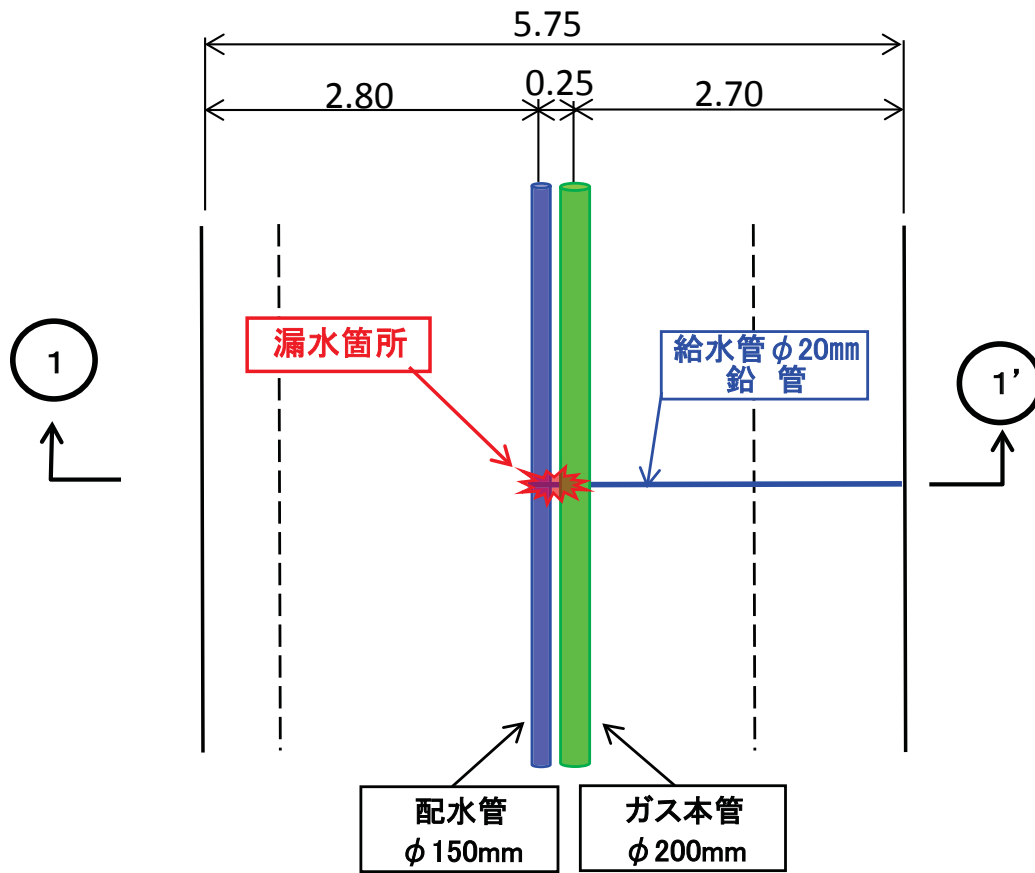
位置図



給水管漏水事故

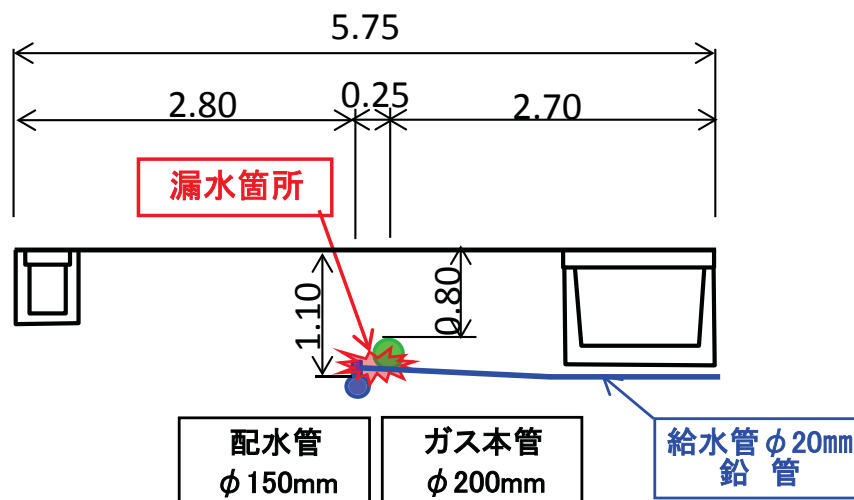
平面図

(単位:m)



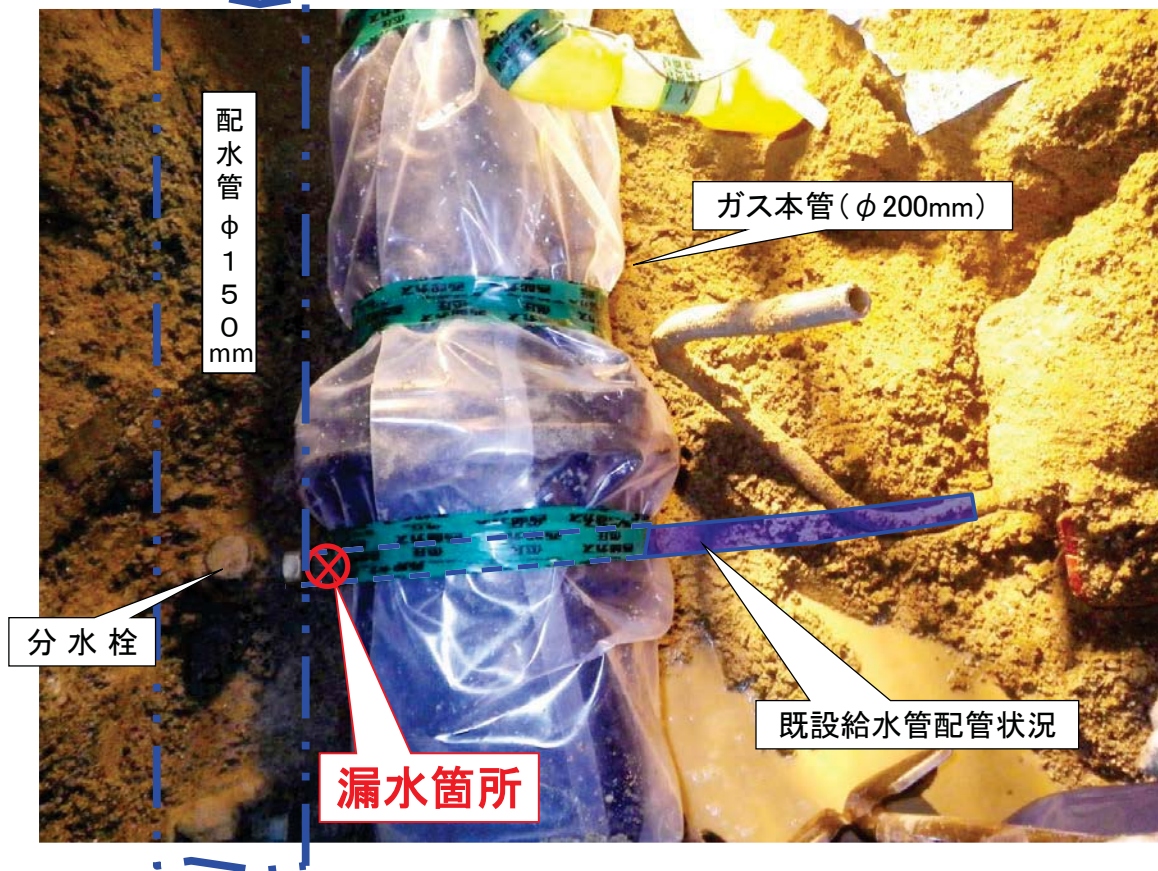
①—①' 断面図

(単位:m)

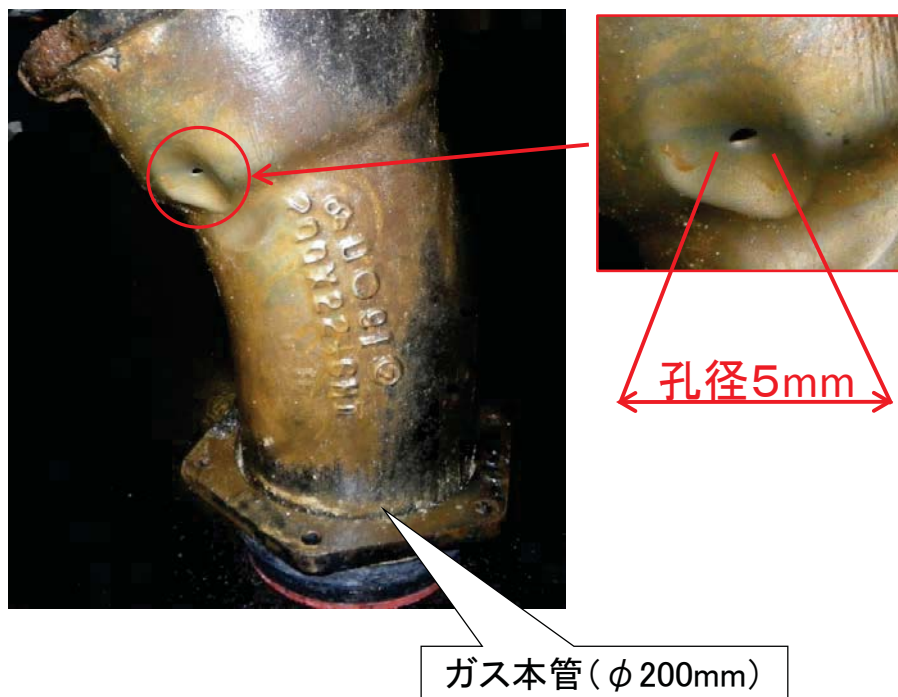
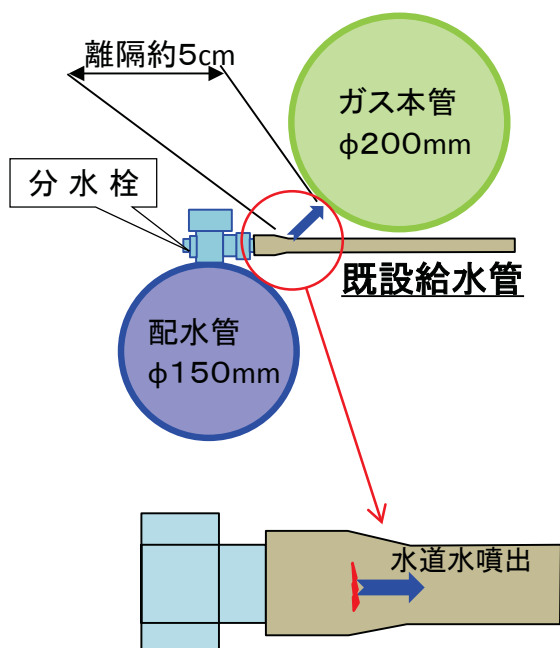


現場写真

1. 漏水事故配管状況



2. 漏水箇所の詳細図及びガス本管(φ200mm)の破損状況

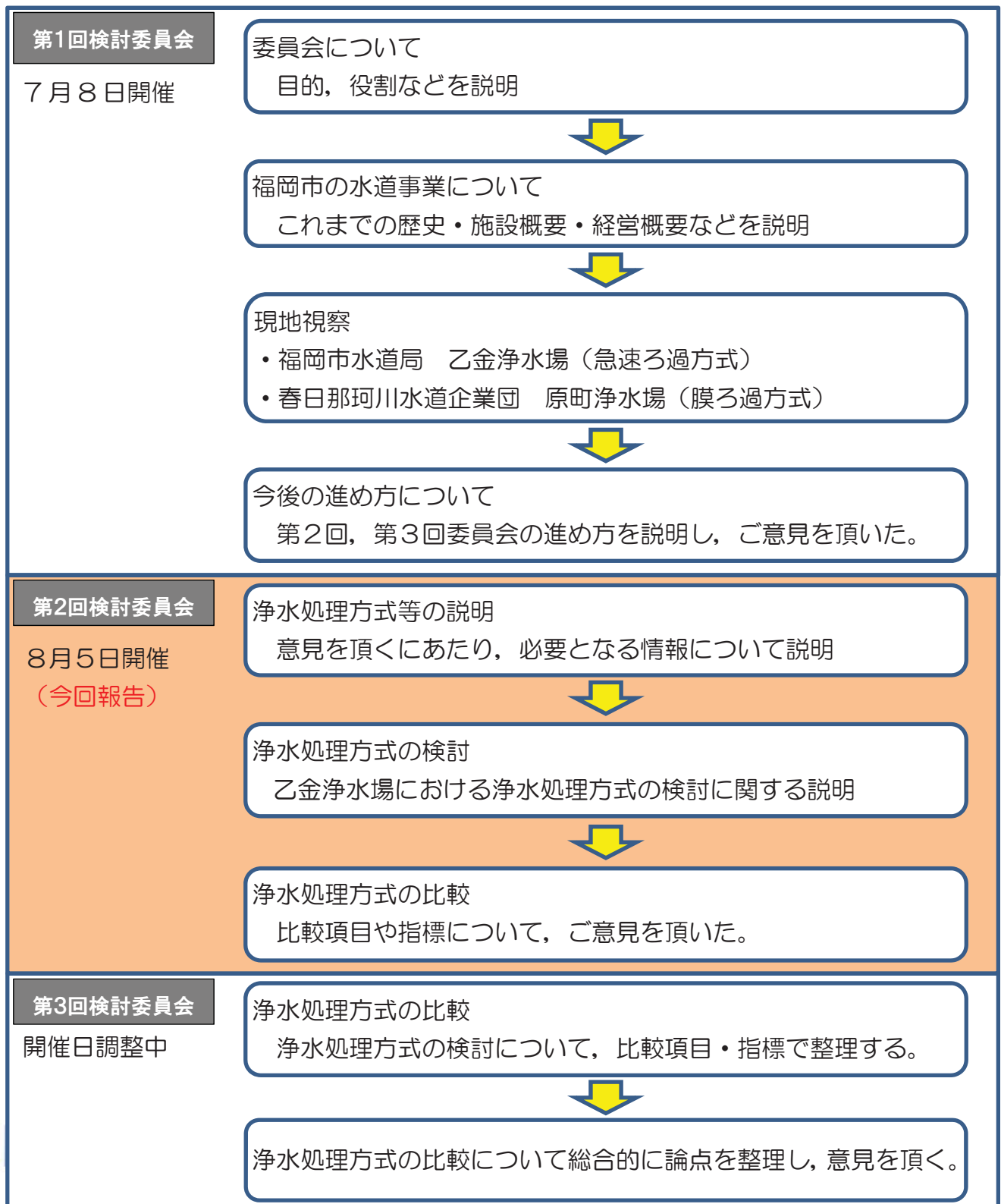


福岡市水道局乙金浄水場浄水処理方式検討委員会 第2回目開催報告

(1) 乙金浄水場浄水処理方式検討委員会の進め方

乙金浄水場における浄水処理方式の検討にあたり、技術的な観点に加え、消費者や経営的な観点も含め、広くご意見を頂くため、学識経験者等からなる「福岡市水道局乙金浄水場浄水処理方式検討委員会」（以下、「検討委員会」という。）を設置している。

検討委員会は3回開催する予定であり、その進め方は以下のとおりである。



(2) 第2回検討委員会 開催報告

■開催日時：平成26年8月5日（火） 13:30～16:10

■開催内容

①浄水処理方式等の説明

各浄水処理方式（急速ろ過方式・膜ろ過方式など）の特徴など、意見を頂くにあたり必要となる情報について、説明を行った。

②浄水処理方式の検討

乙金浄水場における浄水処理方式の検討に関する説明を行い、このなかで急速ろ過方式又は膜ろ過方式を導入した場合における整備内容を提示した。（図1参照）

③浄水処理方式の比較

比較項目・指標について意見を頂いた。（表1参照）

表1 比較項目・指標（案）

| 項目 | 指標 |
|-------|---------------------------|
| 経済性 | 50年間の費用（初期費用，維持管理費，更新費等） |
| 施工性 | 施工の容易さ，工期，周辺環境への影響 |
| 処理性 | 浄水水質 |
| 維持管理性 | 運転操作性，メンテナンス性，非常時対応 |
| 環境性 | 電力使用量，CO ₂ 発生量 |
| 将来性 | 有機物・カビ臭への対応，耐塩素性病原生物への対応 |

※別紙に第2回検討委員会の主な資料を添付

■委員会における主な意見など

●経済性について

- ・費用の比較について，期間を定める際に前提条件をそろえる必要がある。利子率についてはいくつかのケースを設定し，比較していいのでは。

⇒期間，利子率については，事務局で検討を行い，第3回で提示する。

●処理性について

- ・原水水質はどのように変わると予測しているのか。

⇒過去10年間ほどの期間で見ると原水の水質に大きな変化は見られない。また，那珂川の下水道整備状況，小石原川上流の水源林の保全状況等から，今後水質が大きく悪化することはないと考えている。

●環境性について

- ・エネルギーの問題は非常に重要だと考えているが，浄水場施設の動力源は電力のみか。

⇒基本的には電力供給で動くものばかりであり，高効率モーターの選定など省エネルギー化を図っている。

●その他

- ・水道水の水質が悪いと思い込んでいるという話を聞く。より情報を発信するべき。

●急速ろ過方式における整備（平面図案）

※ 福岡市情報公開条例に定める非公開情報と認められる恐れのある情報については、掲載していません。

●膜ろ過方式における整備（平面図案）

※ 福岡市情報公開条例に定める非公開情報と認められる恐れのある情報については、掲載していません。

図1 急速ろ過方式，膜ろ過方式における整備内容について
（今後の実施設計等により，施設配置等が見直しとなる場合があります）